令和８年度　　大津清陵高等学校（昼間定時制）　学校評価

本年度の重点目標

・基礎学力の定着・伸長を図る。
・社会で自立できる人間の育成を目指した取組の充実を図る。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校は、教育方針や教育目標、教育活動に関する説明を適切に行っている。	B		
	学校は、単位制のよさを活かした学校経営に取り組んでいる。	A		
2　学習指導	基礎・基本の定着を目指した授業に取り組んでいる。	A		
	わかりやすい授業となるように努めている。	A		
3　生徒指導	学校は、生徒や保護者の悩みや相談に親身に対応している。	A		
	交通安全のルールを遵守する指導や防災意識の高揚に努めている。	A		
	いじめの未然防止と早期発見に努め、適切な指導を行っている。	A		
4　進路指導	進路意識の早期醸成等の進路指導に努めている。	A		
	進路情報が迅速・確実に生徒に提供されている。	A		
5　特別活動等	豊かな人間性の育成を目指した特別活動に取り組んでいる。	B		
	社会性を身につける教育活動に努めている。	B		
6　学校図書館	いろいろな機会を活用して読書に親しむ指導をしている。	B		
	図書館の蔵書や読書について情報提供している。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A		
	生徒の事故・怪我・病気等への対応が適切に行われている。	A		
8　人権教育	すべての人の人権を尊重する観点で教育活動が行われている。	A		
	ＬＨＲなどを活用し、人権意識を高める指導に取り組んでいる。	A		
9　環境教育	関係教科の指導の中で地球環境や地域の環境について考えさせている。	B		
10　事務・管理	文書管理が適切に行われている。	A		
	施設・設備の安全点検に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	生徒の興味・関心や進路希望等に対応してガイダンスや指導を充実させている。	A		
	全教職員が積極的に生徒を把握し、指導に取り組んでいる。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：https://www.ohtsuseiryo-h.shiga-ec.ed.jp/